

特別講義

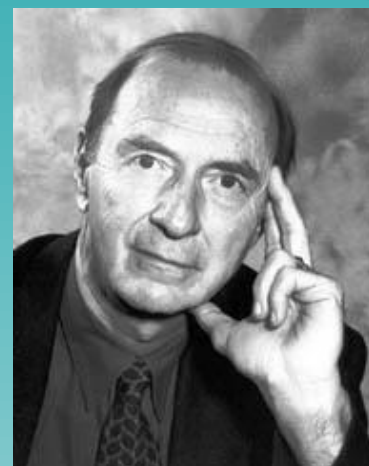
Social Constructionism in the Contemporary Society: Theory and practice

ケネス・J・ガーゲン 博士 スワスモア大学名誉教授, シニアリサーチャー

日時：2019年10月24日(木)
17:10~19:10

場所：明治大学駿河台キャンパス
グローバルフロント3階 4031教室

司会：清宮 徹（西南学院大学教授）
コメンテーター：Mary Gergen(社会心理学者)
高橋 正泰（明治大学教授）



講演詳細

講演の概要：

本講演では「『本質的で客観的な真理』は人間にとっては直接観察不能であり、何らかの枠組みによって観察されざるをえない」の立場にたち、社会構成主義という世界の新たな見方を概説する。その上で、社会構成主義を研究や実践へどのように応用していくのか説明していく。

* 講演2時間のうち、初めの1時間はガーゲン先生による講義、残りの1時間はフロアとのディスカッションとなります。

使用言語：英語（日本語通訳なし）

参加対象者：学部生、大学院生、教職員、一般(入場無料・申込不要)

講師紹介

ケネス・J・ガーゲン (Kenneth, J. Gergen)

1957年にイエール大学を卒業、1962年にデューク大学で博士号(心理学)を取得。その後、米国ペンシルバニア州のスワスモア大学において、心理学を指導。当初、伝統的な心理学の定量的アプローチ(統計学を土台とする実証研究)をしていたが、次第に定性的な方向性に傾き、実証主義に対抗する新しいパラダイムである社会構成主義(social constructionism)を確立する。この考え方は、今や社会科学の基本的な考え方の一つとして欧米では広く認知されている。

コーディネーター：商学部准教授 西 剛広